

## はじめに ー改訂にあたってー

本書の初版は2004年に刊行されました。当時、日本語教育の現場では、「聞く」、「話す」というスキルをそれぞれ単独で（あるいは片方を集中的に）扱うことが多かったという現状がありました。しかし「聞く」と「話す」が連動する活動であることを考えると、一方的に聞いて、その話題や内容が理解できているかを問う練習だけでは、「聞いて話す」能力を十分に養うことができません。「聞いて話す」能力の養成のためには、聞き手と話し手が交替する過程で、相手が述べた情報を正確に聞き取り、相手の意図や感情を正しく理解した上で、次に、自分の言いたいことを相手に誤解されることなく伝えることのできる能力、すなわち「やりとり」の能力が必要です。そのため、『日本語生中継』シリーズでは、「聞いて話す」場面で、話された情報を正確に理解するだけでなく、話し手の意図や感情も正しく理解できるような練習問題も用意し、さらに、会話の相手や場面によって、話し方をどのように調整すればよいのかも学べるようにしました。

現在では、この「聞いて話す」能力、すなわち、「やりとり」能力は、言語教育の現場で一般に周知されています。例えば、CEFR（Common European Framework of Reference for Languages：外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）においては、言語活動を「話すこと／書くこと全般」の「産出」、「聞くこと／読むこと全般」の「受容」とは別に「やりとり」という言語活動がたてられています。しかし、初版『日本語生中継』発売当初、日本語教育の現場ではこの「聞いて話す」能力の重要性はそれほど浸透しておらず、いわば新しい概念でした。

さて、言語活動としての「聞いて話す」能力の養成の重要性は現在では浸透してきたものの、本シリーズは初版の発売から20年近く経ち、テキストの話題や場面が古くなってしまいました。そこで、この新版では、初版の一部を改訂するのではなく、時代に合わせ、話題や場面を全面的に刷新することにいたしました。さらに、これを機に、本書では、初版の重要表現を一から見直し、整理しました。加えて、新しくなった重要表現を、直接的に、そして、段階的に練習できるよう練習問題を作成し直し、それらにスクリプトと音声もつけました。

初版発売当初から、『日本語生中継』シリーズは、多言語による単語訳やスクリプトをつけるなど、独学でも学習できるような対応を行ってきました。本書では、この対応をさらに充実させ、単語訳だけでなく、聞き取り練習Ⅰと聞き取り練習Ⅱ、および、ポイントリスニングのスクリプトの全文に、英語、中国語、韓国語、ベトナム語の訳をつけました。なお、これらの訳は、WEB上で公開されています。

このように全面的に内容が新しくなった本書では、聞いて話す能力を伸ばすことがさらに容易になるよう工夫しました。なお、本書は、著者3名の話し合いをもとに、各自がそれぞれ担当の課の原案を作り、討議を経て原案を加筆修正し、最終原稿に至りました。

末筆になりましたが、くろしお出版の市川麻里子さん、金高浩子さんには、大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

2022年9月 著者一同

# 目次

このテキストについて 6

## LESSON 1

「今、いないんですけど」 **一伝言一** .....10

不在であることを伝える  
伝言を申し出る  
伝言を頼む

## LESSON 2

「一緒に行ってみない？」 **一勧誘一** ..... 20

誘う  
誘いを受ける  
誘いを断る  
返事を保留する

## LESSON 3

「これ、使わせてもらってもいいかなって」  
**一許可一** ..... 30

許可を求める  
許可を与える  
条件を述べる  
許可をしない

## LESSON 4

「渋滞してるらしいですよ」  
**一確かな情報・不確かな情報一** ..... 41

他から得た情報を伝える  
自分で判断したことを伝える  
確かな情報であることを示す  
不確かな情報であることを示す

## LESSON 5

「そこをなんとか」 **一依頼・指示一** ..... 52

依頼をする  
依頼を引き受ける  
依頼を断る  
依頼をあきらめる  
指示する

## LESSON 6

「今もらえないと、困るんだけどね」  
**一文句・苦情一** ..... 65

文句・苦情を言う  
事情を説明する・言い訳する  
非難する

## LESSON 7

「中華のほうがいいんじゃない？」 **一提案一** ..... 74

提案を述べる  
提案に賛成する  
提案に反対する  
代案を提示する  
答えを保留する

## LESSON 8

「給料は悪くないんだけどね」 **一感想一** ..... 85

状況について満足していることを述べる  
不満を述べる  
後悔していることを伝える

## このテキストについて

### ▶目的と特徴

このテキストは、会話場面におけるリスニング能力を高め、場面に応じて適切に話す能力を身につけることを目的に作られています。

リスニングには、ニュースや講義、講演を聞くといった一方向のリスニングと、話し手と聞き手が交互に入れ替わる会話を聞くリスニングがあります。毎日の生活を振り返ると、私たちが行っているリスニング活動は、話すことと聞くことが同時に求められる会話場面でのリスニングが非常に多いことがわかります。その場合、聞き手と話し手が交替する過程で、相手が述べた情報を正確に聞き取り、相手の意図や感情を正しく理解した上で、次に自分の言いたいことを相手に誤解されことなく伝えることのできる能力、すなわち、やりとりの能力が必要です。このテキストでは、タイトルの『日本語生中継』が物語っているように、現実の会話場面を再現した生き生きとした会話の聞き取りをすることで、やりとりの能力を伸ばすことができるよう、構成されています。

具体的には、次の表で示すような構成になっており、各セクションの目的は以下の通りです。

① 多様な人間関係と状況を設定したスキットを聞き取ることを通して、用いられる表現や話の流れが人間関係や話の場、話す内容によって異なることを理解し、人間関係や場面に応じた表現の使い分けを意識化させます。	聞き取り練習Ⅰ
② 会話の聞き取りだけでなく、第三者に様々な場面を出来事として語るという「語り」の聞き取りをし、その語りから話し手の発話意図や感情を正しく理解する練習を取り入れています。	聞き取り練習Ⅱ
③ 単文を聞き取り、その表現意図が正しく理解できているかを確認する練習をします。単なる質問をしているのか、それとも苦情を言っているのかなど、特にイントネーションによって表現意図が変わる場合の聞き取り練習ができます。	ポイントリスニング
④ 機能別の重要表現とそれにそった練習問題、ロールプレイを取り入れることにより、会話の中で「聞いて話す」会話能力の養成を目指します。	重要表現、練習問題、ロールプレイ

### ▶対象者 日本語能力試験 N2 以上 / CEFR B1 ~ B2 程度

- ① 日常の基本的な出来事については日本語で用を足すことができるが、自分の感情や意見を詳しく説明したり、相手によって話し方をうまくコントロールしたりすることができない中級以上の日本語学習者
- ② 日本語に関する知識は豊富だが、日本社会で使われているような自然な日本語（特に、くだけた表現）に慣れていない上級レベルの日本語学習者

### ▶全体の構成

このテキストは、課ごとに中心となる機能を設定しています。場面、内容、人間関係等によって、同じ機能であっても用いる表現や話の進め方が違うことを意識化させるために、いろいろな場面の

会話を提示しています。

第1課	伝言	第5課	依頼・指示
第2課	勧誘	第6課	文句・苦情
第3課	許可	第7課	提案
第4課	確かな情報・不確かな情報	第8課	感想

これらのメインの機能の他に、この機能が用いられる会話場面で共に使われることが多いと考えられる機能を数種類取りあげました。

### ▶各課の構成

#### ■こんなとき、どう言いますか

ウォーミングアップの部分です。まず、過去の経験を思い出したりして、課で取りあげている場面で自分がどのように行動するかを考えます。音声を聞く前に、会話の場面に関する知識を活性化させることが目的です。

また、それぞれの課で取りあげた機能表現のうち、初級や初中級段階で既に学んでいると考えられる表現を取りあげ、それらの表現が十分理解できているかどうかを確認します。

#### ■聞き取り練習Ⅰ

聞き取り練習Ⅰは、「会話」を聞くタスクです。聞き取り練習Ⅰは、5～6のスキットがあり、それぞれ、登場人物の人間関係、話されている場面（公的なものか、プライベートなものか、等）が異なっています。聞き取りタスクは次のような順序になっています。

問題1：場面や話している人たちの人間関係、話されているトピック、話の結果（大まかな内容）について聞き取る。

問題2：細かい内容について聞き取る。

問題3：ある機能についてどのような表現が用いられているのか、表現のバリエーションを聞き取る。ただし、ここでは話された内容を一言一句もらさずディクテーションするのではなく、どんな表現が用いられたのかだけ聞き取ればよいとする。また、同じような場面で使える他の表現も考える。

問題に取り組むときには、なぜそのような答えになるのかクラスで話し合しましょう。場面に応じた表現を使うことを常に意識することにより、相手や状況に応じてことばを使い分ける能力が養成されるでしょう。

#### ■聞き取り練習Ⅱ

聞き取り練習Ⅱは、「語り」の聞き取りが中心です。ここでは、主に課の機能に関わる出来事について第三者に経験として語っている話を聞き取ります。例えば、苦情を述べたこととその顛末、そのときの気持ちを他の人に伝えるというような場面です。聞き取り練習Ⅱのタスクには、内容についての聞き取りだけでなく、話し手の意図や感情を考える設問、その後の話し手の行動、あるいは聞き手が後にとるべき行動を学習者に考えさせる設問もあります。このような練習によって、話し手の意図や感情を正しく理解する力と自分の気持ちを正確に伝える力が身につくことでしょう。

## ■ポイントリスニング

単文レベルの聞き取りタスクです。イントネーションの違いや表現の細かな違いによって、表現意図が異なってしまふものを中心に聞き取る練習を行います。

## ■機能別の重要表現

ここでは、それぞれの課で取りあげた機能の重要表現とそれにそつた練習問題が提示されています。重要表現は  (Tシャツマーク) と  (ネクタイマーク) にグループ分けされています。Tシャツマークは、友人と喫茶店で話すなど、カジュアルな場面で主に使う表現、ネクタイマークは会社で上司と話すなど、フォーマルな場面で主に使う表現であることを示しています。

友人であれば必ず  の表現が使われるわけではなく、会議などのフォーマルな場面では、 の表現は使いませんし、上司と話す場合でも、会社が終わってプライベートな場面では、それほどフォーマリティーの高い表現は要求されません。つまり、人間関係だけでなく、場面やトピックによつてもどちらの表現を用いるのが適切かは異なるわけです。このテキストでは、大きく二つの場面  と  に分け、表現を提示していますが、教室では適宜、補足説明を加える必要があります。

## ■ロールプレイ

最後にまとめとして、ロールプレイをして話す練習を行います。音声では、スキットの一部分のみを聞くことが可能なものもあります。したがつて、聞き取り練習Ⅰのスキットを途中まで聞かせ、会話の状況を確認した後、続きの会話を作り上げるという練習も可能です。このような練習を2種類提示しています。

また、これ以外に、カジュアルな場面とフォーマルな場面のロールプレイタスクも提示しています。こちらについては、学習者が実際に遭遇するような場面になるよう、修正を加えて練習してください。

## ■別冊〈スクリプト・単語表・解答〉

別冊の解答には、こんなとき、どう言いますか、聞き取り練習Ⅰ、聞き取り練習Ⅱ、ポイントリスニングの解答が載せてあります。問題によっては、答えが一つではないものもありますので、目安としてお使いください。

また、振り仮名つきのスクリプトと単語表の各国語訳(英語・中国語・韓国語・ベトナム語)もあります。

## ■WEBサイト

『日本語生中継 WEB サイト』には以下のものが載せてあります。自学自習にも役に立ちます。

- ① 音声 
- ② スクリプトの翻訳(英語・中国語・韓国語・ベトナム語)

<https://www.9640.jp/japanese-live/>



## ▶学習者の皆さんへ

『日本語生中継』は、タイトルが示しているとおつり、身近な場面で話されている日本語の会話をそのまま再現しました。

上級クラスで日本語を学んだのに、日本人と自然な会話ができないと感じている人や、友達や先輩と居酒屋で話すとき、アルバイト先の店長と話すとき、面接のときなど、いろいろな会話の場面で、表現をどのように使い分ければいいかわからないと感じている学習者の皆さんに、ぜひ、使っていただきたいと考えています。

このテキストは、クラスで使うことを前提に作りましたが、一人で学習することもできます。別冊には、単語の翻訳(英語・中国語・韓国語・ベトナム語訳)と振り仮名がついたスクリプトがありますし、WEBサイトには、スクリプトの翻訳があります。



## ▶教師の皆様へ——授業での使い方のヒント

### ①リスニングとスピーキング、両方の能力の養成のために用いる場合

「各課の構成」に書いてある順序でこのテキストを用いると、「聞いて話す」能力をバランスよくつけることができます。→1課の学習時間の目安=180分程度

### ②リスニングに重点をおいた場合

こんなとき、どう言いますか、聞き取り練習Ⅰ、聞き取り練習Ⅱ、ポイントリスニングを行い、その後で、わからない表現がないか、重要表現を確認するという手順で練習します。

→1課の学習時間の目安=120分程度

### ③スピーキングに重点をおいた場合

聞き取り練習Ⅰ、聞き取り練習Ⅱ、ポイントリスニングは、事前課題にします。教室では、聞き取り練習Ⅰのそれぞれのスキットの内容を、当事者ではない立場から他の人に語るという練習をすることも可能です。また、当事者として感想を付け加えながら話す練習もできます。このようにすれば、「語り」の練習ができます。

聞き取り練習Ⅱについても、自分自身の感想を加えながら話の内容を語ってもらう練習を行うと、意見や感想を述べる練習ができます。その後、重要表現の解説をし、場面に応じた表現の使い分けについて練習した後、その課の機能を用いてロールプレイを行います。ロールプレイの内容については、学習者に考えてもらうなど、工夫すれば、授業がより生き生きとしたものになるでしょう。→1課の学習時間の目安=120分程度

### ④ディスカッションのリソースとして

このテキストで取りあげたトピックは、日本事情のトピックとして使えるものが数多くあります。聞き取りタスクから、ディスカッションに発展させることも可能です。第2課「仕事以外での職場の人とのつきあい」、第3課「中高生のアルバイト、若い世代の仕事に対する考え方」、第5課「地域住民の助け合い」、第6課「苦情を言うか言わないか」、第7課「子どもを夏休みに田舎に住ませること、環境問題」、第8課「転職、フリーター、残業、女性の昇進、大学生の就職活動」など。

※『新版 日本語生中継 中～上級 教師用マニュアル』は別売りです。

「一緒に行ってみない？」  
いっしょ 勧誘 かんゆう

最近、どんなことに人を誘いましたか。また、誘われた時に、誘いを受けたくなくて、困ったことはありませんか。

こんなとき、どう言いますか

①～⑤は、誰が何をしますか。もし鈴木さんにこう言われたら、どう答えますか。

① 一緒に映画を見に行きたいなあ。

② もしよかったら、駅まで車で迎えに行きましょうか。

③ 木村さんには、僕から電話しようか。

④ 日曜日、ドライブに行こうか。



鈴木さん

⑤ 遊園地のチケット、あまってるんだけど、もし、興味があれば行ってみない？

1. 誰が何をしますか。

- ① { 鈴木さん・相手・鈴木さんと相手 } が \_\_\_\_\_。
- ② { 鈴木さん・相手・鈴木さんと相手 } が \_\_\_\_\_。
- ③ { 鈴木さん・相手・鈴木さんと相手 } が \_\_\_\_\_。
- ④ { 鈴木さん・相手・鈴木さんと相手 } が \_\_\_\_\_。
- ⑤ { 鈴木さん・相手・鈴木さんと相手 } が \_\_\_\_\_。

2. あなたが、もし鈴木さんにこう言われたら、どう答えますか。

- ① \_\_\_\_\_
- ② \_\_\_\_\_
- ③ \_\_\_\_\_
- ④ \_\_\_\_\_
- ⑤ \_\_\_\_\_



聞き取り練習 I

スキット① 17 スキット③ 20 スキット⑤ 23  
スキット② 18 スキット④ 22

問題1 スキットを聞いて、次の質問について答えてください。

(1) 誰と誰が、(2) 何について話していますか。そして、(3) 何に誘いましたか。(4) 結果はどうでしたか。

- (1) 誰と誰?    ア. 友人同士    イ. 夫婦    ウ. 上司と部下/先輩と後輩    エ. 初めて会う人同士  
オ. 近所の人同士
- (2) 何について?    a. 今から店に来る    b. グループに参加する    c. チケットを買う    d. 食事に行く  
e. 習い事をする

	(1) 誰と誰	(2) 何について	(3) 何に誘ったのか	(4) 結果
①				○・×・?
②				○・×・?
③				○・×・?
④				○・×・?
⑤				○・×・?

一度聞いてわからなかった人は、次の言葉を確認してからもう一度聞きましょう。

①	②	③	④	⑤
フラワーアレンジメント	たいした～	京料理	お義母さん	太り気味
気持ちが落ち着く	フラメンコ	忘年会	化粧を落とす	国際結婚
(～と) 話が合う	発表会	(～の) 都合に合わせる	(～が) 濡れる	日頃
同年代	本格的(な)		面倒くさい	気軽に
陶芸	価値がある		(～を) 断る	集まり
(～と) 話を合わせる	半分持つ		適当に断る	(～に) 参加する
				強制

**問題2** もう一度スキットを聞いて、正しい内容を選んでください。

① 恵美は a. 陶芸 を習っている。ところが、 d. 興味がなくなった ので、  
 b. 生け花 e. 同年代の人がいない  
 c. フラワーアレンジメント f. 話が合う人がいない

遙を誘うことにした。遙は g. 興味が無い ので、誘いを j. 受けた。  
 h. 忙しい k. 受けなかった。  
 i. おもしろそう

② 森下さんは、再来週の日曜日 a. 忙しそうだ。 福島さんの c. 奥さん がフラメンコ  
 b. 忙しくなさそうだ。 d. 彼女

を習っていて、その発表会があるので、森下さんに見に来るように誘っている。  
 そこでは、ワインが e. ただ で飲めるそうだ。  
 f. 半額

③ a. 男の人の友達 は、おいしい京料理の店を教えてくれた。それで、男の人は女の人を食事  
 b. 女の人の友達

に誘っている。男の人は、今恋人が c. いる ようだ。  
 d. いない

女の人は、男の人と一緒に、 e. いつその店に行くかはわからない。  
 f. すぐにその店に行くことにした。

④ 男の人は a. 友達と飲んでいる。 そして、奥さんをそこに来るように誘って  
 b. 友達とホットドックを食べている。

いる。奥さんは c. お母さんがいる ので f. 行く ことにしたようだ。  
 d. 面倒な g. 行かない  
 e. 子どもが熱を出している

⑤ 「国際結婚を考える会」というのは、国際結婚を a. したい人 の会である。  
 b. している人

集まりは c. 毎月一回 開かれている。この女の人は子どもが e. いる ので、教育の問  
 d. 毎週日曜日 f. いない

題には関心が g. ある。 会に入るかどうかは i. 夫と相談してから 決めるようだ。  
 h. ない。 j. 子どもができてから

**問題3** もう一度スキットを聞いて、どのような表現を使って誘ったのか、書いてください。また、スキットの表現以外に、どんな言い方が適切か、クラスで話し合しましょう。

問い① 17 問い③ 20 問い⑤ 23  
 問い② 19 問い④ 22

	どのように誘いましたか	同じような相手と場面で、他にどんな言い方ができますか
①		
②		
③		
④		
⑤		



**聞き取り練習 II**

ナレーション・スキット① 24  
 スキット② 25 スキット③ 26

**問題1** スキットを聞いて、何に誘われたのか、書いてください。



	誘われたこと
①	
②	
③	

一度聞いてわからなかった人は、次の言葉を確認してからもう一度聞きましょう。

①	②	③
たまに	しょっちゅう	気が向く
あこがれの～	一杯	しつこく(～する)
内心	頻繁	丁重に
やったぞ	つきあいが悪い	あきらめる
	断りづらい	すっきりする
	しぶしぶ(～する)	反面

問題2 誘いを受けましたか、それとも断りましたか。そう思った理由も書いてください。

	誘いを受けたかどうか	理由
①	受けた・断った	
②	受けた・断った	
③	受けた・断った	

問題3 インタビューを受けた人は、上司の誘いについてどのように考えていると思いますか。クラスで話し合しましょう。



### ポイントリスニング

ポイントリスニング 27

誘いを受けた、断った、まだわからない、のどれですか。✓を書いてください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
受けた								
断った								
まだわからない								

## 重要表現

### 誘う

- 例 (1) 遥も一緒に習ってみない? いやならいいんだけど。(練I-① 友人に)
- (2) もし興味があれば、奥さんでも誘って、見に来てくれないかなって。(練I-② 部下に)
- (3) 結衣ちゃんと一緒に行きたいなって思って。(練I-③ 後輩に)
- (4) 出て来れない? (練I-④ 妻に)
- (5) もしご興味を持っていただけるようでしたら、ぜひ参加していただいて、ご一緒にお話でもできたら、って思うんですが。(練I-⑤ 近所の人に)



新しい車買ったんだけど、一緒にドライブでもどう?

よかったら

時間があったら

興味があったら

一緒にテニスやってみない?

映画に行かないかなって(思って)。

今晚、飲みに行かない?

今、お茶、できない?

一緒に行きたいなって(思って)。



一緒に、お話を聞いていただけたらって思うんですが。

よろしかったら

お時間がありましたら

ご興味がおありでしたら

ご興味を持っていただけるようでしたら

一緒にどうですか/いかがですか。

ご一緒しませんか。

一緒に行っていただけませんか。

見に\*いらっしゃいませんか。

送別会に\*参加していただけませんか。

ボランティアに\*参加なさいませんか。

\* 自分がその集まりの主催者のときに使います。

### 次のような場合はどう言いますか

練習 28

① 友人をコンサートに誘う

A: ね、KATS が、4月に日本に来るって、知ってた?

B: えー! 知らなかった。日本に来るんだ。行く、行く!

② 友人を来週晩ご飯に誘う

A: 最近、あんまりゆっくり話す時間ないよね。

B: うん、そうだね。今週は、ちょっと厳しいけど、来週ならオッケーだよ。

③ 1月末に行われる吉田さんの送別会に上司を誘う

A: 2月で退職される吉田さんの送別会なんですけど、

B: ええ、ぜひ。日程が決まったら知らせてください。

④ 近所の人をコミュニティーセンターの料理教室に誘う

A: 料理、習ってみたいっておっしゃってましたよね。

B: いいですね。何曜日にやってるんですか。

誘いを受ける



うん/もちろん。で、いつ？ (どこ?...)  
うん、行く(、行く)。  
えっ、いいの？



ええ、ぜひ。  
はい、うかがいます。ありがとうございます。

次のような場合はどう言いますか

練習 29

③と④は、a) 快く受ける場合と、b) しびしび受ける場合の両方を考えてみましょう。

① ラーメンを食べに行こうと誘われる

友人: 駅の東口出たところに、先週、新しいラーメン屋できたの、知ってる? 昼に行ってみない?

😊: \_\_\_\_\_

② ボルダリングに誘われる

友人: ねー、ねー、ユリ、ボルダリングってやったことある? わたし、やったことないんだけど、やってみたいなって思ってる。一緒にどう?

😊: \_\_\_\_\_

③ ゲームに誘われる

友人: なー、今晚、いつものゲーム、大輝たちとやろうかって言ってる、メンバー、集めてるんだけど、やる?

{ a) 😊: \_\_\_\_\_  
b) 😐: \_\_\_\_\_

④ 週末のゴルフに誘われる

上司: 中尾さん、さっき、安田さんと話してたんですけど、週末、ゴルフ行きませんか。

{ a) 😊: \_\_\_\_\_  
b) 😐: \_\_\_\_\_

誘いを断る

- 例 (1) ううん。陶芸とかだったら、ちょっと考えてみてもいいんだけど。 (練I-① 友人に)  
(2) 最近、忘年会シーズンですから、けっこういろんな約束が入っちゃってるんで。 (練I-③ 先輩に)  
(3) 悪いけど、こんな時間に外出るのはいやよ。 (練I-④ 夫に)  
(4) わたしたち、まだ二人ですので、子どもの教育は問題ありませんし。 (練I-⑤ 近所の人に)



月曜日だったらいいんだけど。  
ちょっと約束が入ってて。



月曜日だったら、行けたと思うんですけど。  
ちょっと用事が入ってまして。

次のような場合はどう言いますか

練習 30

① ラーメンを食べに行こうと誘われる

友人: 駅の東口出たところに、先週、新しいラーメン屋できたの、知ってる? 昼に行ってみない?

😊: \_\_\_\_\_

② ボルダリングに誘われる

友人：ねー、ねー、ユリ、ボルダリングってやったことある？ わたし、やったことないんだけど、やってみたいなって思ってる。一緒にどう？

☹️：\_\_\_\_\_。

③ ゲームに誘われる

友人：なー、今晚、いつものゲーム、大輝たちとやろうかって言ってて、メンバー、集めてるんだけど、やる？

☹️：\_\_\_\_\_。

④ 週末のゴルフに誘われる

上司：中尾さん、さっき、安田さんと話してたんですけど、週末、ゴルフ行きませんか。

☹️：\_\_\_\_\_。

返事を保留する

例 (1) じゃ、妻に予定をきいてみますんで、少し、待ってもらえませんか。

(練 I-② 上司に)

(2) じゃ、主人と相談してみますので。

(練 I-⑤ 近所の人に)



まだちょっとわからないんだけど。

妻にきいてみるから、ちょっと／明日まで待ってくれない？

少し／明日まで、考えさせて。



まだちょっとわからないんですが。

妻にきいてみますので、ちょっと／明日まで待っていただけませんか。

少し／明日まで、考えさせてくださいませんか。

お時間いただけますか。

じゃ、妻と相談してみます。

調整してみます。

次のような場合はどう言いますか

練習 31

①



友人

この週末って忙しい？ よかったら、一緒に、映画とかに行かないかなって思ってる。



あなた

②



友人

あのさ、次の日曜の午後、友達がライブするんだけど、一緒に聞きに行かない？



あなた

③



同僚

土曜日にうちでバーベキューをするんですが、ご家族と一緒にいらっやいませんか。



あなた

④



同僚

真紀さん、絵、好きだって言ってましたよね。週末ならいつでもいいんで、フェルメール展、一緒に行きませんか。月末までやってみたいなんですけど。



あなた

ロールプレイ



- ① スキット②の前半(18)を聞いて、話の続きをペアで作ってみましょう。
- ② スキット③の前半(20)を聞いて、話の続きをペアで作ってみましょう。
- ③ こんな時、どのように言いますか。

友人からキャンプに誘われましたが、あなたはあまりアウトドアが好きではありません。

山登りが好きな人たちで作っている会社のオンライングループに、年上の同僚を誘ってみましょう。